

II インターネットを利用した気管支ぜん息の有症率とその動向の把握に関する調査研究

II-②【成人喘息の有症率とその動向に関する研究】

代表者：谷口 正実

【研究課題の概要・目的】

背景：

- 1) 公害健康被害予防事業助成金交付要綱に掲げる区域（以下、「助成対象地域」とする。）における成人喘息の有病率有症率を、その他の地域と比較して正確かつ大規模に検討した成績はほとんどない。
- 2) 助成対象地域に居住することが、喘息有病率、寛解、喘息コントロール状況などに影響するかどうかは不明である。

目的と研究概要：

- 1) 全国の助成対象地域（川崎市、富士市、東海市、四日市、倉敷市、尼崎市、北九州市など全ての助成対象地域）に居住している 20 歳以上の成人に対し、すでに確立した正確で精度の高いインターネット調査方法を用いて、喘息有症率、有病率を調査する（主たる調査）。
- 2) 1) の調査対象に現在の喘息コントロール状況はどうか、有病率や有症率に影響する因子を調査する（副次調査）。

1 研究従事者（○印は研究リーダー）

- 谷口 正実 国立病院機構相模原病院 臨床研究センター病態総合研究部 部長
- 秋山 一男 国立病院機構相模原病院 院長
- 福富 友馬 国立病院機構相模原病院 臨床研究センター 診断治療薬開発研究室 室長

2 平成 23 年度の研究目的

助成対象地域とその他の全国の県庁所在地における、喘息の有病率を明らかにする。さらに、有病率と大気汚染指標との相関を検討することにより、喘息の有病率、有症率に大気汚染がどの程度関与しているか明らかにする。

3 平成 23 年度の研究対象及び方法

研究デザイン

すでに確立した正確で回収率の高いインターネット調査方法（福富、谷口ら）を用いた。具体的な方法としては以下である。

マクロミルリサーチモニターとしてあらかじめ登録されているインターネット上の 20-44 歳のモニター会員を調査の対象とした。リサーチモニターはあらかじめその居住地区に関する情報を有している。助成対象地域に在住するモニターにおける喘息有病率と、その対照として、助成対象地域ではないその他の地域に在住のモニターにおける喘息有病率を比較した。調査対象サンプル数は各地区 2000 人を上限とし可能な限り大きいサンプル数とした。e-mail により、登録モニターに対して調査参加への呼びかけを行った。同意が得られたモニターに対して web ページ上で気管支喘息の有病率と喘息発症危険因子に関する質問を含む調査票に対して回答を依頼した。調査期間は 2012 年 1 月 13 日から 1 月 25 日 とし、調査期間中回答がないものに関しては 3 日に一回催促のメールを繰り返し配信し、可能な限り高い回収率を目指した。本研究は国立病院機構相模原病院の倫理委員会の承認のもと行われた。

調査対象地区

助成対象地域は、以下の 20 地区に関して別々に有病率を算出した。

- ①千葉県千葉市、②東京都区部、③神奈川県横浜市、④神奈川県川崎市、⑤静岡県富士市、⑥愛知県名古屋市、⑦愛知県東海市、⑧三重県四日市市、⑨大阪府大阪市、⑩大阪府堺市、⑪大阪府豊中市+吹田市+守口市、⑫大阪府八尾市+東大阪市、⑬兵庫県神戸市、⑭兵庫県尼崎市、⑮兵庫県西宮市、⑯岡山県倉敷市、⑰岡山県玉野市、⑱岡山県備前市、⑲福岡県北九州市、⑳福岡県大牟田市

対照として用いたのは助成対象地域ではない以下の 44 地域とし、それぞれにおける有病率を算出した。

1. 41 県庁所在市

① 千葉市、② 東京都区部、③ 横浜市、④ 名古屋市、⑤ 大阪市、⑥ 神戸市以外の 41 都道府県の県庁所在市、

2. 北海道の 3 地区

北海道に関しては以下の 3 地区も同時に調査対象地域に含んだ。

帯広地区（帯広市＋音更町＋芽室町＋幕別町）、釧路地区（釧路市＋釧路町＋白糠町）、旭川市

調査票

日本語版の ECRHS 調査票を用いて喘息有病率を明らかにした。ECRHS 調査票は、国際的に気管支喘息の有病率を比較するためにもっとも普遍的に用いられている調査票であり、その調査結果の妥当性は多くの研究により証明されている。

アウトカム

- ① ECRHS 調査票による最近 12 カ月の喘鳴を肯定したものの割合（Wheeze の有症率）
- ② 医師による喘息の診断があり現在も喘息の症状があるものの割合（現在の喘息の有病率、BA の有病率）

外部データベース

環境省が収集公表しているデータに基づき、2009 年の一般環境大気測定局の 3 物質（SPM、NO₂、SO₂）の年間測定結果の各調査対象地区における平均値を、各地区の大気汚染の指標として利用した。

統計解析

リサーチモニター集団の年齢性別分布は、一般人口のそれと異なっていたため、有病率は、まずは 5 歳刻みの年齢階級ごとのそれを算出し、その後日本全国の年齢階級分布で標準化したのちの値を算出した。助成対象地域のうち、⑦ 愛知県東海市、⑩ 岡山県玉野市、⑪ 岡山県備前市、⑫ 福岡県大牟田市に関しては、統計学的検定に耐えられるほど十分な調査サンプル数を得ることが出来なかったため、今回の調査から得られた有病率は参考値とし、その後の探索的解析ではこれら 4 地区は除外した。各地区の有病率と環境汚染指標の相関に関しては、散布図を作成し相関を図示するとともにピアソンの相関係数を算出した。公害助成地区 16 地区とその他の 44 地区の有病率を Mann-Whitney の U 検定で比較した。

4 平成 23 年度の研究成果

表 1 に助成対象地域における調査対象者数と回収率を示す。回収率はいずれの地区も 90% 以上であり、良好であった。表 2 に各地区における標準化有病率と 95% 信頼区間を示す。東海市、玉野市、備前市、大牟田市に関しては、回収サンプルサイズが小さいため信頼区間の値も大きくなり、今回の有病率の結果の信頼性が高くはなかったため、参考値に留めるのみとし、その後の解析対象から除いた。

図 1、図 2 に各地区の有病率を図示した。助成対象地域における、wheeze の有病率の中央値は 13.2%、現在の喘息の有病率は 8.1% であった。

図 3 に大気汚染指標と wheeze や喘息有病率の相関関係を示す。いずれの大気汚染指標においても、wheeze や喘息有病率との有意な正の関係を認めなかった。

図 4 に助成対象地域とその他地域での大気汚染指標の差異を示す。いずれの指標においても助成対象地域のほうがその他地域よりも大気汚染指標の値が高値であった。一方、wheeze や喘息の有病率自体は助成対象地域のほうがその他の地区より低いという結果になった。

詳細は、[別紙](#) 図表参照のこと。

5 考察

今回初めて、助成地区での正確な喘息有病率・有症率が明らかになった。大気汚染指標は助成対象地域においても環境基準範囲内に入っていたためか、大気汚染指標と喘息有病率の正の関係は認めず、現状の SPM、NO₂、SO₂ 汚染の程度では、喘息有症率に与える疫学的なインパクトは大きくないものと考えられた。さらに、助成対象地域においては、その他地域に比べ喘息の有病率は有意に低い結果となった。この理由は不明であるが、現状の大気汚染は影響がなく、国内では別の因子（たとえば喫煙その他）が喘息有症率に影響していると推定される。

また今回の成績は、インターネット調査の長所（短期間で比較的安価に回収率の高い広範囲疫学

調査が可能)が生かされた研究となったが、高齢者や過疎地域での調査ができない点やインターネット使用者でのバイアスが生じる可能性は本調査の欠点であり、今後の課題であった。

6 次年度に向けた課題

今回の結果には提示していないが、気管支喘息有病率は全国で大きな地域差があった。今回の検討で、少なくともこの地域差が地域のSPM、NO₂、SO₂などの大気汚染の指標のみで説明できるものではないことが明らかになった。今後の課題としては地域の有病率を規定するその他の因子に関する検討を行う必要がある。

7 期待される成果及び活用の方向性

地域の喘息有病率を規定する因子が明らかになれば、それへの対策は喘息発症予防に有用である可能性が高い。また、そのような因子はそれぞれの喘息患者の症状増悪にも関与していることが推測されるため、患者指導にも生かすことができることが期待される。

【学会発表・論文】

学術論文

■2012年(H24)

1. Konno S, Hizawa N, Fukutomi Y, Taniguchi M, Kawagishi Y, Okada C, Tanimoto Y, Takahashi K, Akasawa A, Akiyama K, Nishimura M: The prevalence of rhinitis and its association with smoking and obesity in a nationwide survey of Japanese adults. *Allergy in press*, 2012. / 原著 (欧文)
2. 谷口正実, 福富友馬: アレルギーの各種検査と患者への説明方法. アレルギー診療ガイドライン. *メディカルレビュー社* (東京), 2012. (印刷中) / 著書 (邦文)
3. Fukutomi Y, Taniguchi M, Tsuburai T, Tanimoto H, Oshikata C, Ono E, Sekiya K, Higashi N, Mori A, Hasegawa M, Nakamura H and Akiyama K: Obesity and aspirin intolerance are risk factors for difficult-to-treat asthma in Japanese non-atopic women. *Clinical & Experimental Allergy*: 1-9 (doi: 10.1111/j.1365-2222.2011.03880.x), 2011. / 原著 (欧文)

■2011年(H23)

4. Fukutomi Y, Taniguchi M, Watanabe J, Nakamura H, Komase Y, Ohta K, Akasawa A, Nakagawa T, Miyamoto T, Akiyama K: Time Trend in the Prevalence of Adult Asthma in Japan: Findings from Population-Based Surveys in Fujiwara City in 1985, 1999, and 2006. *Allergol Int*. 2011. / 原著 (欧文)
5. Sekiya K, Taniguchi M, Fukutomi Y, Tsuburai T, Mitsui C, Tanimoto H, Oshikata C, Tsurikisawa N, Hasegawa M, Akiyama K: Actual control state of intermittent asthma classified on the basis of subjective symptoms. *Intern Med*. 50(15): 1545-51, 2011. / 原著 (欧文)
6. Shirai T, Yasueda H, Saito A, Taniguchi M, Akiyama K, Tsuchiya T, Suda T, Chida K: Effect of Exposure and Sensitization to Indoor Allergens on Asthma Control Level. *Allergol Int*. 2011. / 原著 (欧文)
7. Fukutomi Y, Kawakami Y, Taniguchi M, Saito A, Fukuda A, Yasueda H, Nakazawa T, Hasegawa M, Nakamura H, Akiyama K: Allergenicity and cross-reactivity of booklice (*Liposcelis bostrychophila*): A common household insect pest in Japan. *International Archives of Allergy and Immunology*. 2011. / 原著 (欧文)

学会発表

■2011年(H23)

1. 谷口正実: 教育講演 喘息・アレルギー疾患に対する抗原特異的免疫療法の有用性. The 21st Congress of Interasma Japan / North Asia, 岐阜県, 2011. / 国際学会 (講演)
2. 谷口正実, 福富友馬, 秋山一男: EVS1-2 日本人成人喘息における最新の疫学. 第61回日本アレルギー学会秋季学術大会, 東京都, 2011. / 国内学会 (シンポジウム)
3. 谷口正実, 福富友馬, 関谷潔史, 谷本英則, 三井千尋, 粒来崇博, 美濃口健治, 秋山一男: EVS6-1 重症喘息の背景因子. 第61回日本アレルギー学会秋季学術大会, 東京都, 2011. / 国内学会 (シンポジウム)
4. 粒来崇博, 釣木澤尚実, 三井千尋, 東憲孝, 福富友馬, 谷本英則, 押方智也子, 高橋健太郎, 関谷潔史, 美濃口健治, 大友守, 前田裕二, 谷口正実, 秋山一男: MS13-6 治療により安定した成人気管支喘息患者におけるモストグラフを用いた気流制限の評価. 第61回日本アレルギー学会秋季学術大会, 東京都, 2011. / 国内学会 (ミニシンポジウム)
5. Sekiya K, Taniguchi M, Fukutomi Y, Mistui C, Tanimoto H, Oshikata C, Tsuburai T, Tsurikisawa N, Hasegawa M, Akiyama K: Age-specific background in inpatients with severe asthma exacerbation. The 21th Congress of INTERASMA Japan/North Asia, Gifu, Japan, 2010. / 国際学会 (一般演題)
6. Fukutomi Y, Taniguchi M, Akasawa A, Akiyama K: Association between asthma symptoms and severity of allergic rhinitis determined on the basis of ARIA classification. The 21th Congress of INTERASMA Japan/North Asia, Gifu, Japan, 2010. / 国際学会 (一般演題)
7. Sekiya K, Taniguchi M, Tanimoto H, Akiyama K: Age-specific background in inpatients with severe asthma exacerbation. European Respiratory Society Annual Congress Amsterdam 2011, Amsterdam, Netherland, 2011. / 国際学会 (一般演題)
8. 福富友馬, 川上裕司, 谷口正実, 齋藤明美, 福田安住, 安枝浩, 中澤卓也, 長谷川眞紀, 秋山一男: PP215 アレルギー性喘息における昆虫アレルギー感受性 室内塵中に最も普遍的に認められる微小昆虫・ヒラタチャタテの抗原性. 第51回日本呼吸器学会学術講演会, 東京都, 2011. / 国内学会 (一般演題)
9. 関谷潔史, 谷口正実, 三井千尋, 谷本英則, 福富友馬, 押方智也子, 粒来崇博, 釣木澤尚実, 大友守, 森品夫, 前田裕二, 長谷川眞紀, 秋山一男: PP886 喘息大発作症例の臨床的検討. 第51回日本呼吸器学会学術講演会, 東京都, 2011. / 国内学会 (一般演題)
10. 福富友馬, 谷口正実, 今野哲, 西村正治, 大矢幸弘, 吉田幸一, 岡田千春, 高橋清, 中村裕之, 秋山一男, 赤澤晃: PP891 インターネット調査による本邦の喘息の ecological study 有病率の地域差とその規定因子. 第51回日本呼吸器学会学術講演会, 東京都, 2011. / 国内学会 (一般演題)
11. 三井千尋, 谷口正実, 福富友馬, 谷本英則, 東憲孝, 押方智也子, 関谷潔史, 粒来崇博, 釣木澤尚実, 大友守, 前田裕二, 森品夫, 長谷川眞紀, 秋山一男: P1-09-5 アスピリン喘息における持続的気流制限の検討. 第23回日本アレルギー学会春季臨床大会, 千葉県, 2011. / 国内学会 (一般演題)
12. 関谷潔史, 谷口正実, 三井千尋, 福富友馬, 谷本英則, 押方智也子, 粒来崇博, 釣木澤尚実,

大友守, 前田裕二, 森晶夫, 長谷川眞紀, 秋山一男: P2-11-2 喘息大発作症例の臨床的検討,
第23回日本アレルギー学会春季臨床大会, 千葉県, 2011. / 国内学会 (一般演題)

表1 助成対象地域における調査対象者数と調査回答回収率

助成対象地域		調査以来 メール 配信者数	調査回答 回収数	回収率
千葉県	千葉市	2000	1838	92%
東京都	東京区部	2000	1872	94%
神奈川県	横浜市	2000	1865	93%
神奈川県	川崎市	2000	1850	93%
静岡県	富士市	417	384	92%
愛知県	名古屋市	2000	1863	93%
愛知県	東海市※	232	216	93%
三重県	四日市市	616	588	95%
大阪府	大阪市	2000	1837	92%
大阪府	堺市	2000	1872	94%
大阪府	豊中市 吹田市 守口市	2000	1844	92%
大阪府	八尾市 東大阪市	1801	1666	93%
兵庫県	神戸市	2000	1834	92%
兵庫県	尼崎市	1214	1116	92%
兵庫県	西宮市	1494	1388	93%
岡山県	倉敷市	953	878	92%
岡山県	玉野市※	86	81	94%
岡山県	備前市※	36	34	94%
福岡県	北九州市	1823	1697	93%
福岡県	大牟田市※	141	133	94%

表2 助成対象地域における wheeze と現在の喘息の有病率と 95%信頼区間

助成対象地域		Wheeze の有症率 %, (95%CI)	医師の診断のある現 在の喘息有病率, %, (95%CI)
千葉県	千葉市	14.1 (12.5-15.7)	8.3 (7.1-9.6)
東京都	東京区部	13.5 (12.0-15.1)	8.6 (7.3-9.8)
神奈川県	横浜市	14.5 (12.9-16.1)	9.8 (8.4-11.1)
神奈川県	川崎市	13.8 (12.3-15.4)	8.0 (6.8-9.3)
静岡県	富士市	10.0 (7.0-13.0)	5.9 (3.5-8.2)
愛知県	名古屋市	11.0 (9.6-12.5)	7.1 (6.0-8.3)
愛知県	東海市※	8.8 (5.0-12.5)	8.4 (4.7-12.1)
三重県	四日市市	11.6 (9.0-14.2)	5.9 (4.0-7.9)
大阪府	大阪市	11.4 (10.0-12.9)	7.9 (6.7-9.1)
大阪府	堺市	12.5 (11.0-14.0)	7.1 (5.9-8.2)
大阪府	豊中市 吹田市 守口市	11.5 (10.1-13.0)	8.9 (7.6-10.2)
大阪府	八尾市 東大阪市	13.5 (11.9-13.0)	7.5 (6.2-8.8)
兵庫県	神戸市	13.7 (12.1-15.3)	8.4 (7.1-9.7)
兵庫県	尼崎市	12.8 (10.9-14.8)	7.5 (6.0-9.1)
兵庫県	西宮市	12.2 (10.5-13.9)	8.2 (6.8-9.6)
岡山県	倉敷市	15.3 (12.9-17.7)	8.9 (7.0-10.8)
岡山県	玉野市※	23.6 (14.4-32.9)	11.4 (4.5-18.3)
岡山県	備前市※	4.1 (-2.6-10.8)	12.3 (1.3-23.4)
福岡県	北九州市	14.1 (12.4-15.8)	10.6 (9.2-12.1)
福岡県	大牟田市※	22.0 (14.9-29.0)	17.1 (10.7-23.5)

※ 4 地区に関しては回収数が少ないため参考値

図1 助成対象地域における Wheeze の有症率

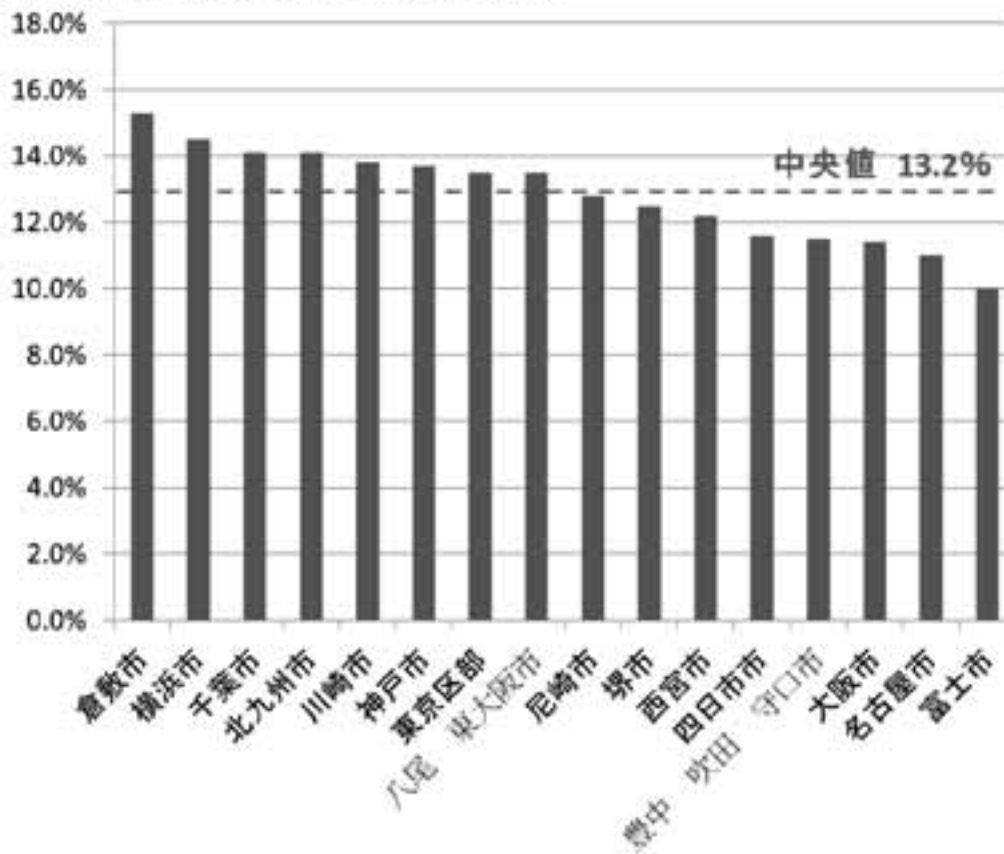


図2 助成対象地域における現在の喘息の有病率

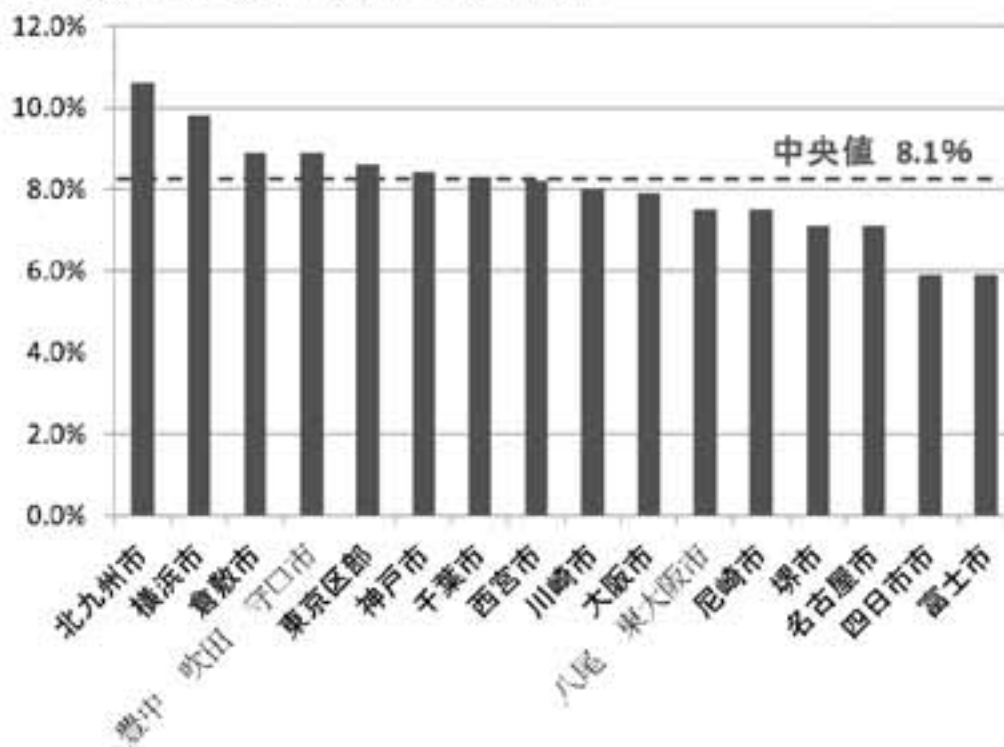
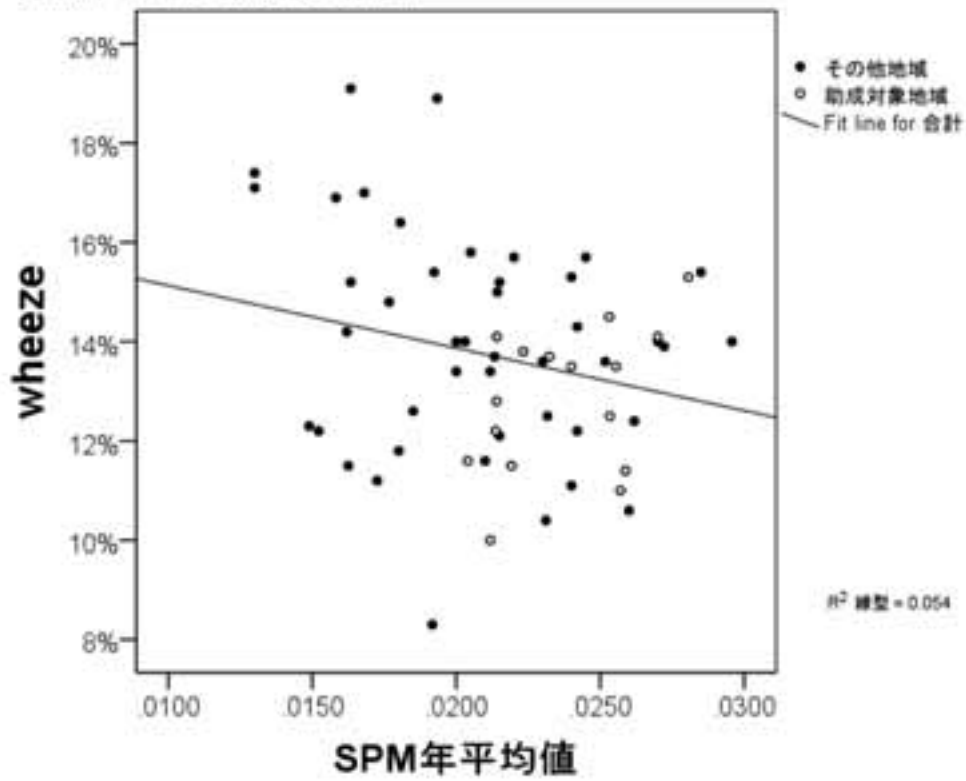
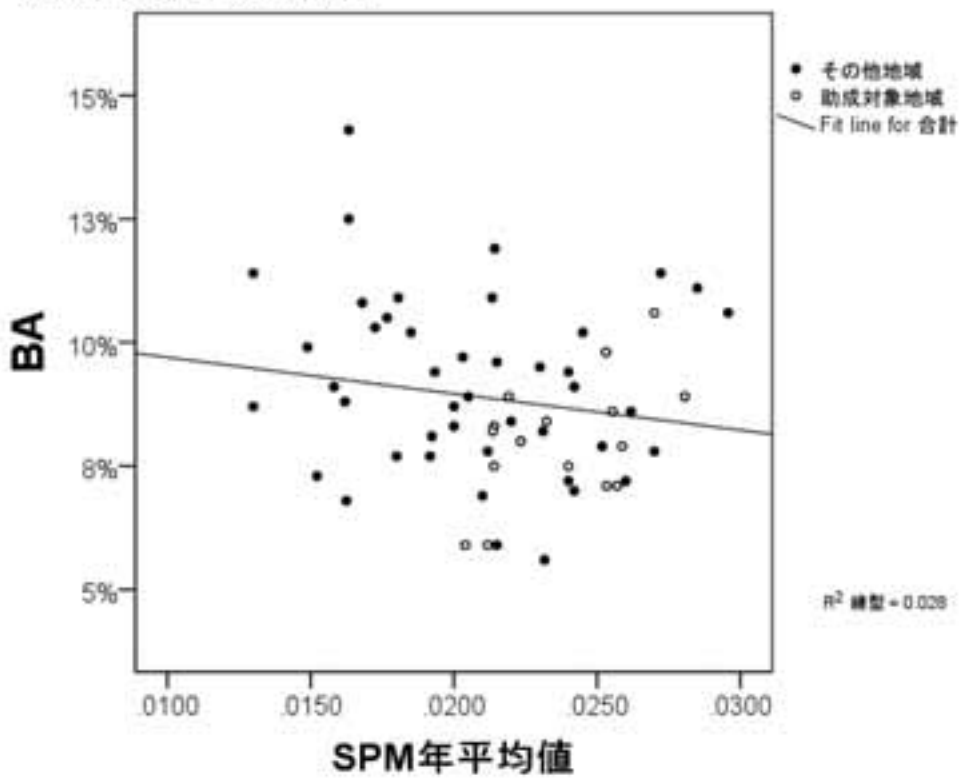


図3 全調査地区における、wheezeの有症率、BAの有病率と大気汚染指標との相関

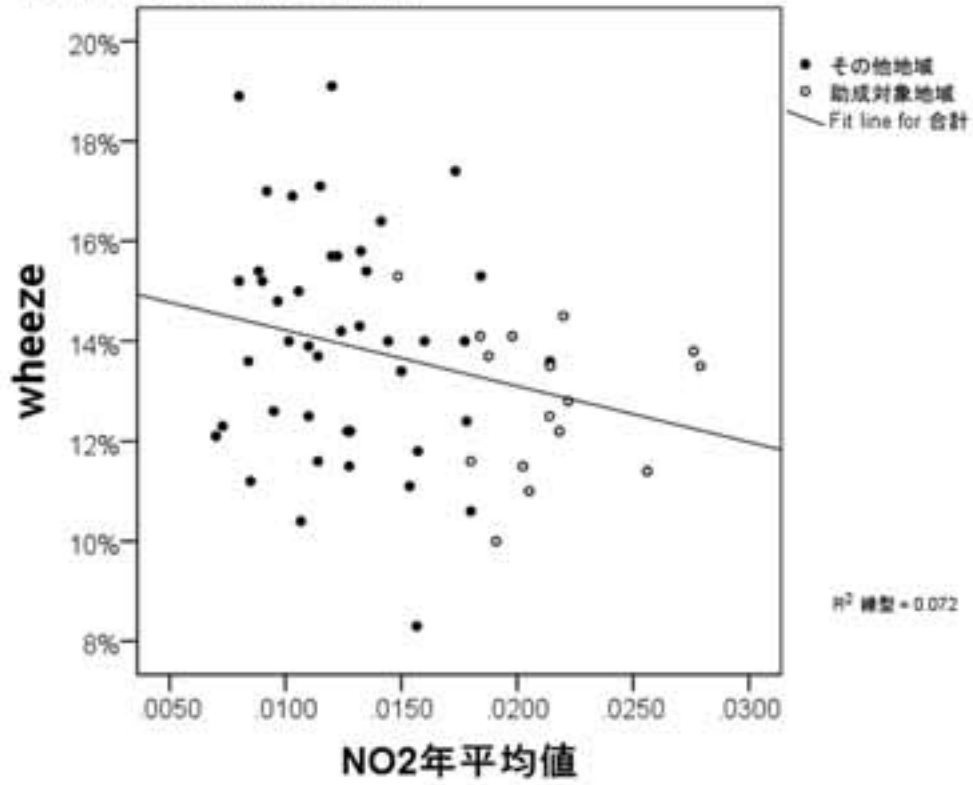
A SPM年平均値とwheezeの有症率



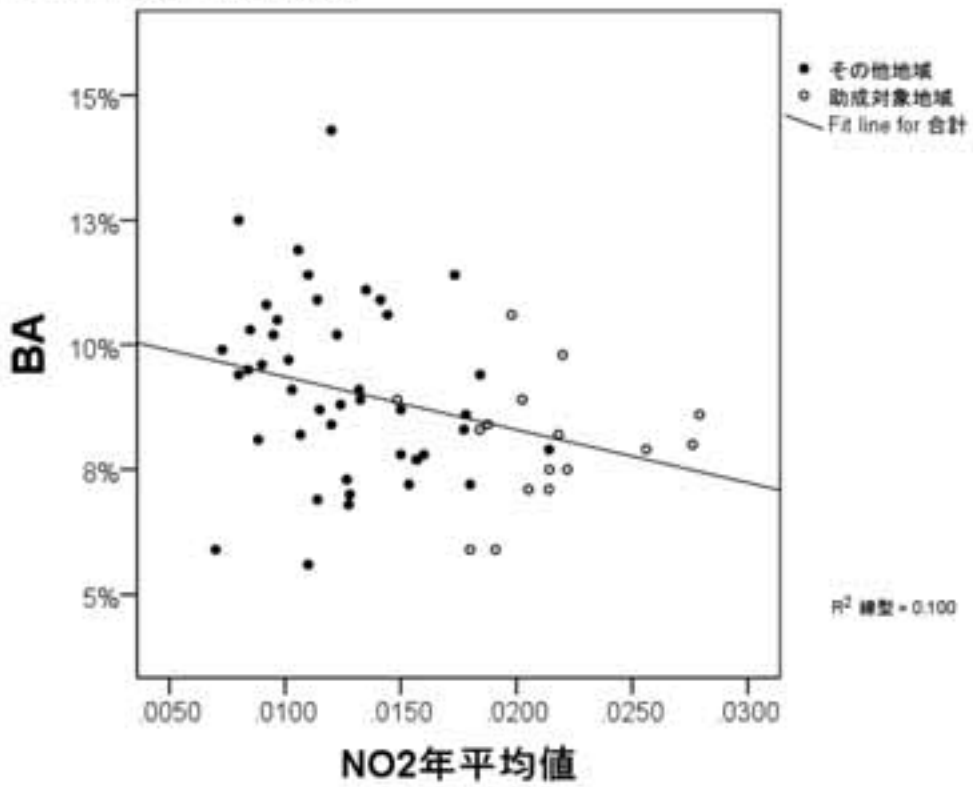
B SPM年平均値とBAの有病率



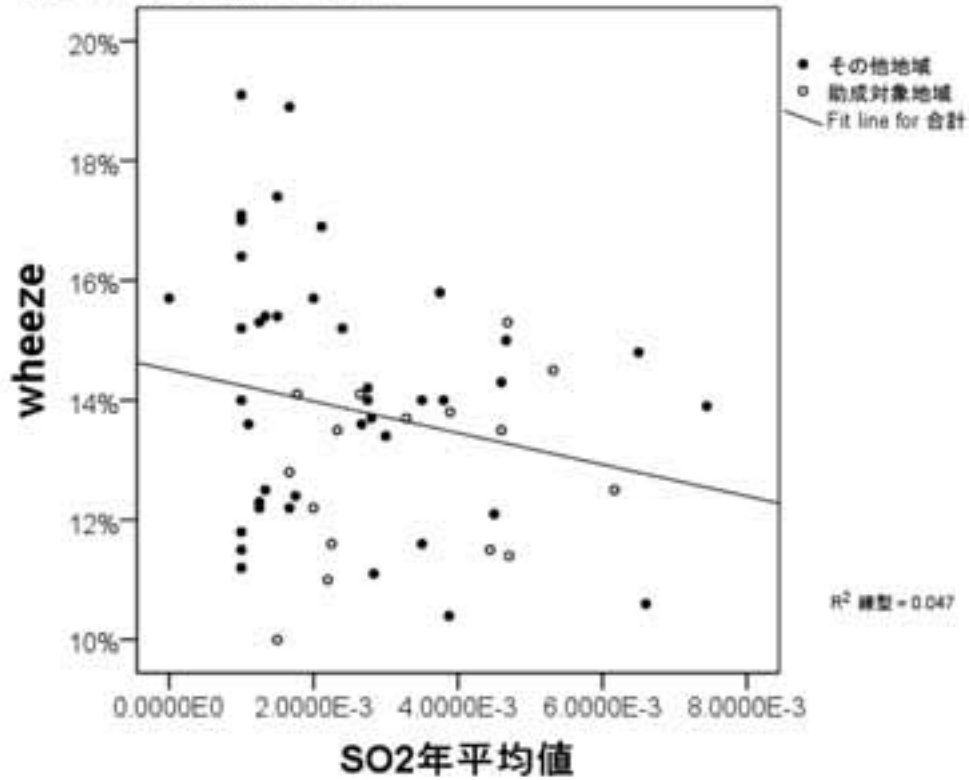
C NO2 年平均値と wheeze の有症率



D NO2 年平均値と喘息有病率



E SO2年平均値とwheezeの有症率



F SO2年平均値と喘息有病率

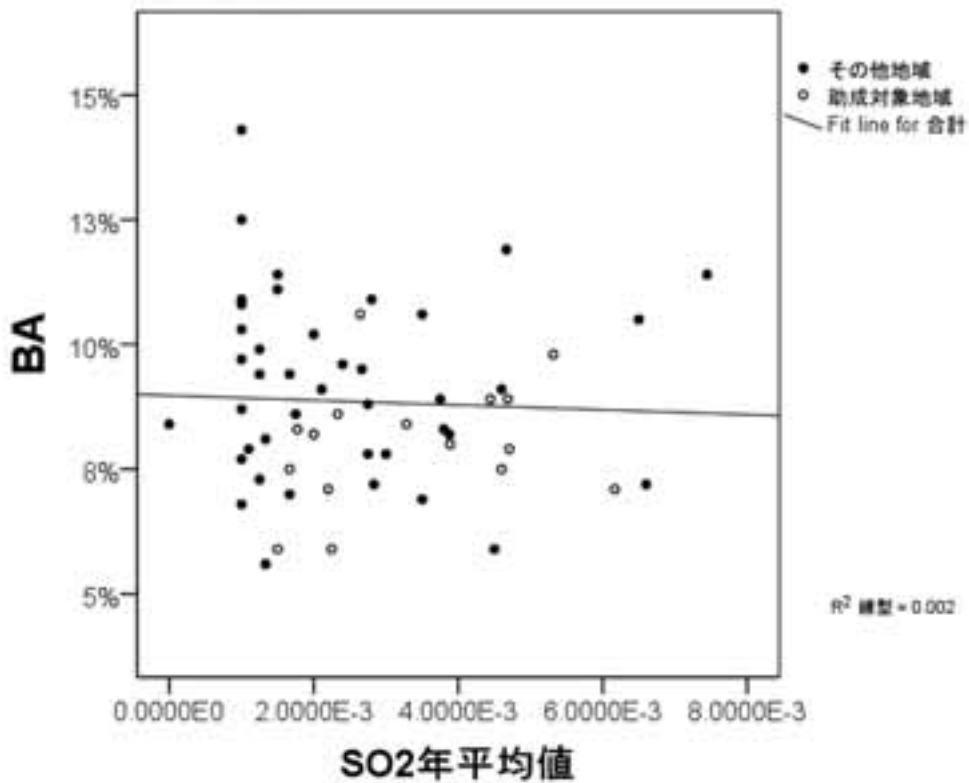


図4 助成対象地域とその他の地区における大気汚染指標の差異

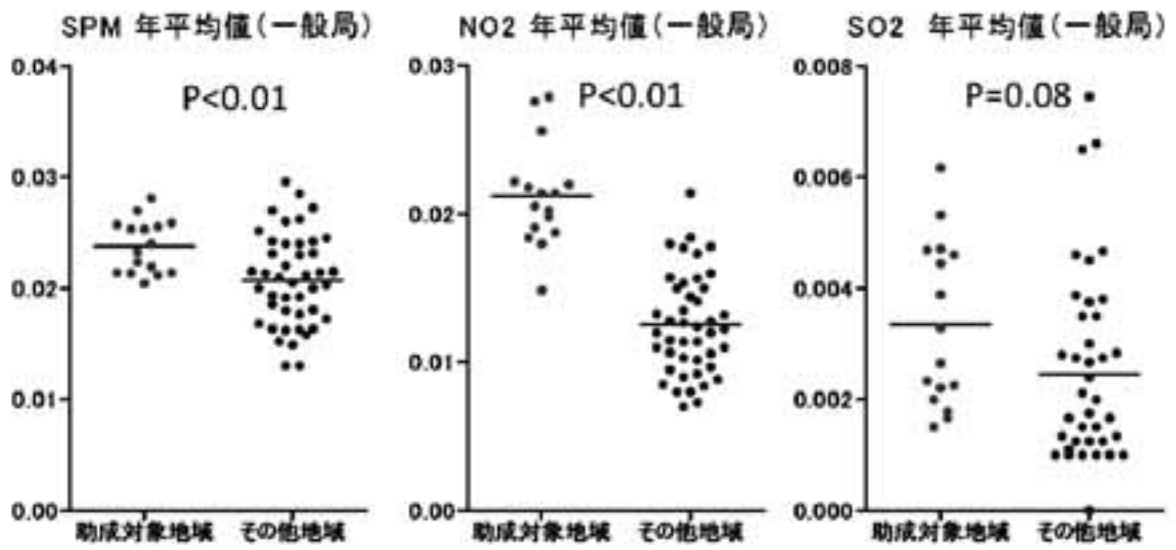
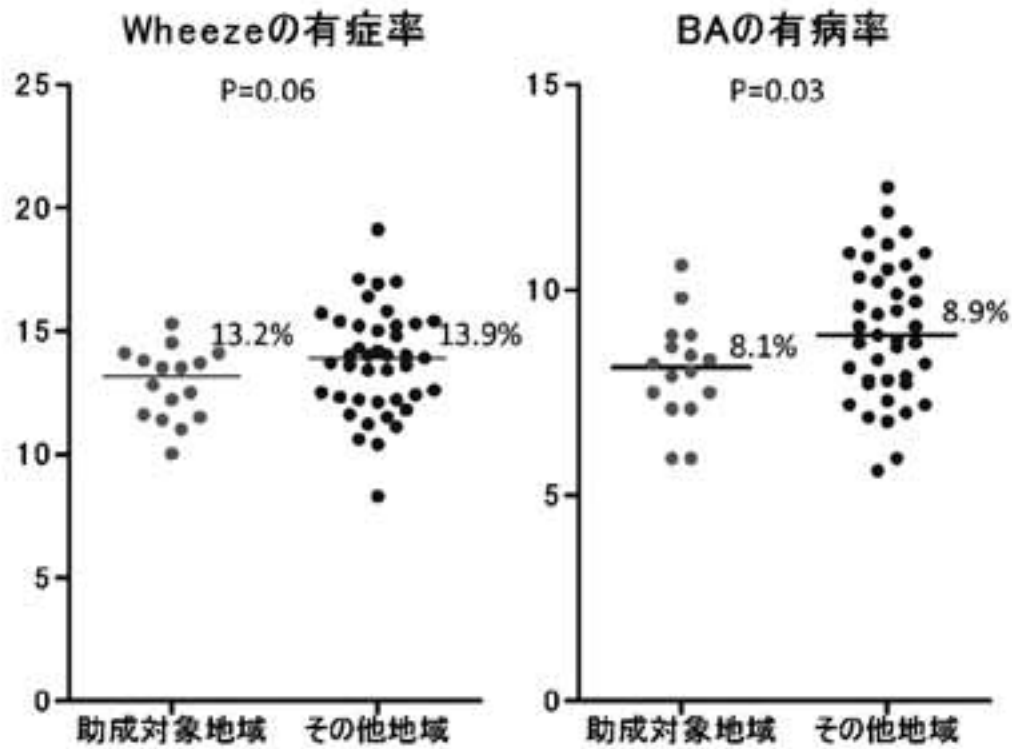


図5 助成対象地域とその他の地区における wheeze と喘息有病率の差異



参考1 インターネットを使用したアンケート項目

予備調査

ページ1	全表		
Q1	必須回答	あなたのこの1日間の身体的な生活の質(クオリティオブライフ)はどのようですか?それを感じていると思われる顔を選んでください。	5A フェイススケール 右参照
1		1	
2		2	
3		3	
4		4	
5		5	
Q2	必須回答	あなたの家は集合住宅ですか?一戸建てですか?	5A
1		集合住宅	
2		一戸建て	
3		その他	5A付
Q3	必須回答	あなたの寝床の材質は以下のどれですか?	5A
1		カーペット	
2		畳	
3		フローリング	
4		その他	5A付



本調査

ページ1	全表		
質問文	<p>この調査はあなたご自身に関するものです。 このアンケートは医学研究の一部として行われており、アンケートの内容にはあなたの病歴のことや身長・体重などの情報も含まれます。</p> <p>アンケートの処理は、個人が特定されないようになっています。 同様の形で公開される可能性があります。 しかし、ご回答頂きました内容につきましては匿名化され全て統計的に処理されますので、あなたの個人情報であることが特定されることは決してありません。</p> <p>本アンケートの主旨にご賛同・ご協力いただける方のみアンケートにお答え下さいませようよろしくお願い申し上げます。</p>		

ページ2	全表		
番号	表名	内容	区分
Q1	必須回答	あなたは普段の生活で、読書を楽しむ習慣を4日に一回ぐらいありますか?以下の中から最もあてはまるものを選んでください。	5A
1		1日2回以上	
2		1日2回	
3		1日1回	
4		週に1-2回程度	
5		ほとんど読書しない	

ページ3	全表		
番号	表名	内容	区分
Q2	必須回答	あなたの血液型を教えてください。	5A
1		A型	
2		B型	
3		AB型	
4		O型	
5		わからない	

ページ4	全表		
番号	表名	内容	区分
Q3	必須回答	あなたは、これまで少なくとも1年以上タバコを吸っていたことがありますか?“はい”は1年間に少なくとも半年で1日1本の紙巻タバコ、または1本の葉巻を吸うことを意味しています。	5A
1		はい	
2		いいえ	

ページ5	Q3 = 1		
番号	表名	内容	区分
Q4	必須回答	あなたは、最近タバコを吸っていますか?つい最近(例えば、1ヶ月程度前)まで吸っていた方は、“はい”を選んでください。	5A
1		はい	
2		いいえ	

ページ9 全員

番号	条件	内容	区分
Q1	必須回答	反動原理に関する質問です。あなたの自宅もしくは職場の同じ部屋内で洗濯時に風呂を流す人がいます。	3A
1		はい	
2		いいえ	

ページ10 全員

番号	条件	内容	区分
Q1	必須回答	あなたの身長と体重を教えてください。(身長 [cm], 体重 [kg])	7A

ページ11 全員

番号	条件	内容	区分
Q7	必須回答	あなたは現在ベッドを飼っていますか?	3A
1		飼っている	
2		飼っていない	

ページ12 Q10-1

番号	条件	内容	区分
Q8	必須回答	あなたが飼っているペットは何ですか? あてはまるものすべてを選択してください。	3A
1		イヌ	
2		ネコ	
3		ハムスター	
4		ウサギ	
5		モルモット	
6		フェレット	
7		トリ	
8		ウマ	
9		ウシ	
10		その他	3A付

ページ13 全員

番号	条件	内容	区分
Q9	必須回答	あなたの最終学歴について教えてください。以下の中からもっともよくあてはまるものを選んでください。	3A
1		中学卒	
2		高校卒	
3		現在専門学校生	
4		専門学校卒	
5		現在短大生	
6		短大卒	
7		現在大学生	
8		大学卒	
9		現在大学院生	
10		大学院卒	

ページ14 全員

番号	条件	内容	区分
Q10	必須回答	あなたは最近5年間で体重は増えていますか? 飼っていますか?	3A
1		10kg以上増った	
2		5~9kg増った	
3		3~4kg増った	
4		1~2kg増った	
5		変わらない	
6		1~2kg減った	
7		3~4kg減った	
8		5~9kg減った	
9		10kg以上減った	

ページ7 質問

番号	条件	内容	区分
Q11	必須回答	あなたは、乳癌を患った何らかの癌のアレルギーがありますか？	SA
1		はい	
2		いいえ	

ページ12 Q11-F

番号	条件	内容	区分
Q12	必須回答	最近1か月の中でいつにこのような癌のアレルギー症状がありましたか？あてはまるものをすべて選んでください。	MA
1		1月	
2		2月	
3		3月	
4		4月	
5		5月	
6		6月	
7		7月	
8		8月	
9		9月	
10		10月	
11		11月	
12		12月	
13		年中	

ページ14 Q11-F

番号	条件	内容	区分
Q13	必須回答	あなたの癌の症状を引き起こしたり、悪化したりするものは何ですか？以下からあてはまるものを選んでください。	MA
1		ハウスダスト(家のほこり)	
2		タバコ	
3		花粉	
4		ペット	
5		カビ	
6		その他	FAT
7		特にない	

ページ15 Q11-F

番号	条件	内容	区分
Q14	必須回答	あなたの癌のアレルギー症状は、一年で最もつらい時、1週間程度は悪化しましたか？	SA
1		0日未満	
2		1-3日程度	
3		4日以上	

Q15	必須回答	あなたの癌のアレルギー症状は、一年で最もつらい時、一度抑えるのにどのくらいかかりますか？	SA
1		3週間未満	
2		3-6週間程度	
3		3-6週間程度	
4		6週間以上	

ページ16 Q11-F

番号	条件	内容	区分
Q16	必須回答	あなたは癌のアレルギー症状のために以下のことがありますか？それぞれ一つずつお選びください。	表形式ではない いいえ で回答
1		よく眠れない	
2		日常生活、スポーツ、レジャーの妨げとなる	
3		学業や仕事の妨げとなる	
4		症状が軽くない	

ページ17 Q11=1			
番号	条件	内容	区分
Q17	必須回答	あなたは、あなたの鼻アレルギーの症状どの程度ほっと感じますか？あなたの気持ちを表す顔の絵を選んでください。	フェイススケール&SA 評価については別途
1		1	
2		2	
3		3	
4		4	
5		5	



ページ18 全表			
番号	条件	内容	区分
Q18	必須回答	あなたは、最近1ヶ月の間に1度でも胸がゼーゼー、ヒューヒューしたことがありますか？“ゼーゼー”とは、痰を吐くような音で、高いあるいは低い場合もあり、また息が早くよくに短い場合	SA
1		はい	
2		いいえ	

ページ18 Q18=1			
番号	条件	内容	区分
Q18	必須回答	あなたは、ゼーゼーしている時に少しでも息が楽になったことはありますか	SA
1		はい	
2		いいえ	

Q20	必須回答	あなたは、最近おきている咳の2つのようなゼーゼーやヒューヒューがあったことがありますか？	SA
1		はい	
2		いいえ	

ページ19 全表			
番号	条件	内容	区分
Q21	必須回答	あなたは、最近1ヶ月の間に1度でも胸のつまりを感じて目が覚めたことがありますか？	SA
1		はい	
2		いいえ	

Q22	必須回答	あなたは、最近1ヶ月の間に1度でも息切れ発作で目が覚めたことがありますか？	SA
1		はい	
2		いいえ	

Q23	必須回答	あなたは、最近1ヶ月の間に1度でも咳(せき)発作で目が覚めたことがありますか？	SA
1		はい	
2		いいえ	

ページ21 全表			
番号	条件	内容	区分
Q24	必須回答	あなたは、今までにぜん息に罹ったことがありますか？	SA
1		はい	
2		いいえ	

番号	条件	内容	区分
Q25	必須回答	あなたの最初のせん見条件はあなたが可成り好きでしたか？	3A
1		0歳	
2		1歳	
3		2歳	
4		3歳	
5		4歳	
6		5歳	
7		6歳	
8		7歳	
9		8歳	
10		9歳	
11		10歳	
12		11歳	
13		12歳	
14		13歳	
15		14歳	
16		15歳	
17		16歳	
18		17歳	
19		18歳	
20		19歳	
21		20歳	
22		21歳	
23		22歳	
24		23歳	
25		24歳	
26		25歳	
27		26歳	
28		27歳	
29		28歳	
30		29歳	
31		30歳	
32		31歳	
33		32歳	
34		33歳	
35		34歳	
36		35歳	
37		36歳	
38		37歳	
39		38歳	
40		39歳	
41		40歳	
42		41歳	
43		42歳	
44		43歳	
45		44歳	
Q26	必須回答	あなたのせん見は最初によって確認されましたか？	3A
1		はい	
2		いいえ	
Q27	必須回答	あなたは、選好はセールの間にせん見条件はありましたか？	3A
1		はい	
2		いいえ	

ページ3 Q14 = 1

番号	条件	内容	区分
----	----	----	----


Q14	必須回答	あなたは最近12か月の間にぜん息の発作のために、定期通院以外に病院を予定外受診もしくは救急受診したことが何回ありましたか？(ない場合は0回と覚えてください)	SA
1		0回	
2		1回	
3		2回	
4		3回	
5		4回	
6		5回	
7		6回以上	

Q15	必須回答	あなたは最近12か月の間にぜん息の発作のために入院したことが何回ありましたか？	SA
1		0回	
2		1回	
3		2回	
4		3回以上	

Q16	必須回答	あなたは、現在ぜん息治療のために何らかの薬(吸入薬や錠剤など)を飲んでいますか？	SA
1		はい	
2		いいえ	

ページ4 Q20 = 1

番号	条件	内容	区分
----	----	----	----

Q20		あなたは最近1か月のどの日曜日(1週間のうち4日以上)使っている薬はありますか？あてはまるものすべてを添ってください	MA
1		バイロコート	<p>あなたは最近1か月のどの日曜日(1週間のうち4日以上)使っている薬はありますか？あてはまるものすべてを添ってください</p> 
2		シムビコート	
3		アムネビシ	
4		フロネキソン	
5		アドエア	
6		ゴルベスコ	
7		アメマキックス	
8		この中にあてはまるものはない	

ページ5 Q24 = 1

番号	条件	内容	区分
----	----	----	----

Q24	必須回答	あなたは、あなたのぜん息の症状をどの程度嫌わしいと感じますか？	フェイススケールSA 薬物については別途
1		1	
2		2	
3		3	
4		4	
5		5	



ページ26 Q24 = 1

番号	条件	内容	区分
Q23	必須項目	あなたのぜん息はどんなとききっかけして悪くなりますか？以下から選んでほまるものをすべて選んでください。(該当条件がない方は「条件がないからわからない」を選んでください)	MA
1		気温の変化	
2		ほこりを吸った後	
3		風邪	
4		食事のあと	
5		アルコールを飲んだ時	
6		花粉が飛散したとき	
7		たばこに近い	
8		てめじめしたとき	
9		冷たい空気	
10		たばこの煙	
11		運動したとき	
12		作業	
13		物陰の季節	
14		けいせい	
15		香水に近い	
16		消毒剤に近い	
17		精神的ストレス	
18		つかれ	
19		(女性の場合)生理の時や前後	
20		(女性の場合)経痛・吐瀉	
21		その他	FA付
22		条件がないからわからない	

ページ27 Q24 = 1

番号	条件	内容	区分
Q24	必須項目	あなたはこの4週間に、ぜん息の症状(ゼイゼイする、咳、息切れ、胸が苦ししい)のせいで、夜寝れなかったり、夜中に目が覚めたり、いつもより早く目が覚めてしまうことがどのくらいありましたか？	SA
1		1週間に4回以上	
2		1週間に2～3回	
3		1週間に1回	
4		月に2～3回	
5		月に1回	
6		全くない	
Q25	必須項目	あなたはこの4週間に、日中にぜん息の症状(ゼイゼイする、咳、息切れ、胸が苦ししい)がどのくらいありましたか？	SA
1		ほぼ毎日	
2		1週間に3～4回	
3		1週間に2回	
4		1週間に1回	
5		月に1～2回	
6		全くない	
Q26	必須項目	あなたはこの4週間に、ぜん息のせいで職場や家計で思うように仕事ができなかったことがどのくらいありましたか？	SA
1		あった	
2		少しあった	
3		全くない	
Q27	必須項目	あなたはこの4週間に、ぜん息の発作(めまい、めまい、めまい、めまい)がどのくらいありましたか？	SA
1		ほぼ毎日	
2		1週間に3～4回	
3		1週間に2回	
4		1週間に1回	
5		月に1～2回	
6		全くない	

ページ28 全頁

番号	条件	内容	区分
Q38	必須回答	あなたは、これまで年間3ヶ月以上ほ ぼ毎日咳や痰が出たことが、2年以上 連続してありましたが？	3A
1		はい	
2		いいえ	

ページ29 全頁

番号	条件	内容	区分
Q39	必須回答	あなたはこれまでどんな病気にか かったことがありますか？あてはまる ものすべてを選択してください。	MA
1		風邪	
2		肺炎	
3		高血圧	
4		尿管結石	
5		アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)	
6		アトピー性皮膚炎	
7		食物アレルギー	
8		大腸花粉症	
9		副鼻腔炎、蓄膿症、鼻詰	
10		過敏性腸症候群	
11		うつ病	
12		中脳脳出血	
13		認知リウマチ	
14		この中にあてはまるものはない	

ページ30 全頁

番号	条件	内容	区分
Q40	必須回答	あなたの家族に、ぜん息、もしくはアト ピー性皮膚炎、もしくはアレルギー性 鼻炎を持っている方がいますか？	3A
1		はい	
2		いいえ	

ページ31 Q40=1

番号	条件	内容	区分
Q41	必須回答	家族のうち誰がどの病気を持ってい ますか？複数兄弟(姉妹)がいらっ しゃる場合は1番年長の近い人につ いてお答えください。(複数回答可)	MA・V・リスク
Q41M01		父親	
Q41M02		母親	
Q41M03		兄弟(姉妹)	
1		ぜん息	
2		アトピー性皮膚炎	
3		アレルギー性鼻炎	
4		いずれももっていない	
5		わからない/この家族はいない	

ページ32 全頁

番号	条件	内容	区分
Q42	必須回答	あなたなどのくわいせつ行為を 取りますか？	3A
1		ほとんど取らない	
2		月に1～2回	
3		週に1～2回	
4		週に3～4回	
5		ほとんど毎日	

ページ23 Q42 = 2.3A.3

番号	条件	内容	区分
Q42	必須回答	あなたはいつもヨーヨー・紅膏に何を 入れますか？	MA
1		砂糖	
2		人工甘味料	
3		3もろ	
4		いずれも入れない	
5		すでに甘みや塩分を添加されたお れべつ・お菓子の数を全調査数に	

ページ24 食品

番号	条件	内容	区分
Q44	必須回答	あなたはこの1か月で以下の食べ物 をどのくらい食べましたか？	マトリクス 表形式で以下の9択から一 つ選択
Q44M01	アイスクリーム		
Q44M02	ケーキ・まんじゅう		
Q44M03	スナック菓子		
Q44M04	チョコレート菓子		
Q44M05	クレープ		
Q44M06	ハンバーガー・チキンなどの ファーストフード店での食事		
Q44M07	焼き鳥・焼き豚		
Q44M08	肉類の揚げ物		
Q44M09	魚の揚げ物		
Q44M10	野菜の揚げ物		
Q44M11	味噌汁		
Q44M12	緑茶		
Q44M13	お酒		
Q44M14	漬物		
Q44M15	佃煮		
1		ほとんど食べない	
2		月に1〜2回	
3		週に1〜2回	
4		週に3〜4回	
5		ほとんど毎日	

ページ25 食品

番号	条件	内容	区分
Q45	必須回答	あなたはこの1か月で以下の食べ物 をどのくらい食べましたか？	マトリクス 表形式で以下の9択から一 つ選択
Q45M01		卵	
Q45M02		牛乳	
Q45M03		ヨーグルト	
Q45M04		チーズ	
Q45M05		バター	
Q45M06		マーガリン	
Q45M07		魚(おしみ、焼き魚、煮魚)	
Q45M08		カマボコ	
Q45M09		魚の干物・塩漬(塩干ば、塩サケも 含む)	
Q45M10		牛肉	
Q45M11		豚肉	
Q45M12		ハム・ソーセージ	
Q45M13		鶏肉	
Q45M14		鶏の濃い煮野菜(ほうれん草など)	
Q45M15		ニンジンやカボチャ	
Q45M16		トマト	
Q45M17		キャベツ・レタス	
Q45M18		白菜	
Q45M19		山菜	
Q45M20		ダイコン	
Q45M21		キノコ・シイタケ	
Q45M22		ジャガイモ	
Q45M23		海藻	
Q45M24		豆腐	
Q45M25		納豆	
Q45M26		フルーツ	
Q45M27		フルーツジュース	
1		ほとんど食べない	
2		月に1〜2回	
3		週に1〜2回	
4		週に3〜4回	
5		ほとんど毎日	

参考2 インターネット上のアンケート表示見本



あなたご自身に関するアンケート

この調査はあなたご自身に関するものです。
このアンケートは医学研究の一部として行われており、
アンケートの内容にはあなたの病気のことや身長・体重などの情報も含まれます。

アンケートの結果は、個人が特定されないような形で、
何らかの形で公開される可能性があります。
しかし、ご回答頂きました内容につきましては匿名化され全て統計的に処理されますので、
あなたの個人情報であることが特定されることは決してありません。

本アンケートの主旨にご賛同・ご協力いただける方のみ
アンケートにおすすみ頂けますようよろしくお願い申し上げます。

下記アンケートにご協力お願いいたします。

当アンケートの回答者の資格へお願い

マクロミルモニタの資格にはモニタ規約にて「匿名性についての守秘義務」の覚悟をお願いしています。

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう(掲示板やホームページへの書き込みを含む)、ご協力お願いします。

Q1 あなたは、普段の生活で、歯磨き粉を使った歯磨きを1日に何回ぐらいしますか？
以下の中からもっともあてはまるものを一つ選んでください。
【必須入力】

- 1. 1日3回以上
- 2. 1日2回
- 3. 1日1回
- 4. 歯は2回磨かず
- 5. ほとんど歯磨きしない

.....< ここまで改ページ

Q2 あなたの血液型を教えてください。
【必須入力】

- 1. A型
- 2. B型
- 3. AB型
- 4. O型
- 5. わからない

.....< ここまで改ページ

Q3 あなたは、これまで少なくとも1年以上タバコを吸っていたことがありますか？
“はい”は1年間に少なくとも平均で1日1本の紙巻タバコ、または週1本の葉巻を吸うことを意味しています。
【必須入力】

1
はい

2
いいえ